

すももの郷通信

落合小
学校通信
No. 4
2022,5,31
発行 宮崎

型破りと形無し

歌舞伎の18代目故中村勘九郎さんは、「型を持つ人が型を破るのが『型破り』、型が無い人が型を破れば、それは『形無し』。」だと生前のインタビューで答えています。子ども電話相談室の無着成恭さんの言葉に痛く感銘し、以後座右の銘にするくらいであったといわれています。無着さんのそのひと言とは『型を身に付けねば型破りにはなれない』でした。

先代の教えに気付いた勘九郎さんは、徹底的に型を習得し、練習に練習を重ね、先代から受け継いだ十八番演目である「春興鏡獅子」の演技に生涯をかけ心血を注ぐとともに、後継者であるわが子や弟子に対しても幼い頃から徹底的に基本を叩き込んだといわれています。

基礎・基本を無視して「一足飛び」をねらうのではなく、あせらずしっかりと基礎・基本を身につけていくことが型破りにつながることを意味しています。個性を生かす大きく飛躍するには、繰り返し学習し、基礎・基本を身につけていくことが大切なのです。「守・破・離」の考え方にも通じるところがあります。

【守】まず無意識にできるまで基本を徹底的に習得する。（基本の域）

【破】しだいに基本を破り、応用（転用）できるようになる。（応用の域）

【離】ついには、枠を離れて自分なりの境地を創造する。（創造の域）

※しかし根源の精神は決して忘れない。（基本精神）



メジャーリーグで活躍している大谷選手も小さい頃から基礎・基本を繰り返して練習し、野球選手としての今があります。



充実した林間学校 5年生！！ 5月18日(水)～19日(木)

「楽しく協力して 笑顔で過ごせる林間学校にしよう」のテーマのもと、5年生が県立ハケ岳少年自然の家での林間学校へ行ってきました。5年生の子どもたちにとっては、初めての宿泊学習です。計画した活動が楽しくできるような自分の役割をしっかりと理解し、みんなで協力して準備から取り組んできました。

1日目の昼の活動は、飯盛山の登山そして、日が沈んでからは、班ごとに懐中電灯一本で夜の草原や森の静けさや暗闇を体験するナイト追跡を行いました。2日目は、広大な敷地の中に点在するアスレチックを班ごとに協力して進む冒険ハイクを行いました。

2日間とも素晴らしい天候に恵まれ、教室ではなかなか味わえない体験を存分に堪能することができました。



日ごろの教室での学びの延長線上にある林間学校です。この林間学校での学びや体験が、これからの学校生活に生かされることを期待しています。



『家庭学習の取組週間』へのご協力ありがとうございました。

「生きる力」の一つの側面である「確かな学力」を身に付けるには、「学校における学習時間の充実」と「家庭学習の充実」がともに大切であると考えます。そこで、本校では、きまり良い生活習慣と家庭学習の確立のために、年間7回の『家庭学習の取組週間』を計画しています。保護者の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

今回の取組期間中【5月16日（月）～22日（日）】取り組み表に書かれていた「家の人の言葉」を少し紹介させていただきます。

- | | | |
|----|--|---|
| 1年 | ・勉強も読書もお手伝いも嫌がらずに進んでやってくれてよかったです。
・国語の教科書をすらすら読めるようになったね。 |  |
| 2年 | ・自分で気づいてとりくめていたところが良かったです。
・つくってくれた、たまごやきもおいしかったです。 | |
| 3年 | ・自主学を工夫してがんばったところ。
・日曜日に畑の手伝いをがんばりました。 | |
| 4年 | ・決めた目標を守ろうと頑張っていたところが良かった。
・授業の予習を自分で考えて進めていたのはとても良かったと思います！！ |  |
| 5年 | ・決めた以外のお手伝いもたくさんしてくれてありがとう！
・目標に向けて頑張っていました。 | |
| 6年 | ・ドリルで復習頑張っているね。この調子で頑張っていこう。
・宿題+αの勉強ができていて頑張っていました。 | |

「成功」の反対は・・・。

日本の子どもたちは、指示待ちが多く、自分の考えをもったり、目標に向けて主体的に行動したりする姿勢に乏しいと言われていています。よりよい自分になるには、まず、己を知ること、そして自己像や目指すべきキャラを見つけることです。そしてその自己像やキャラ確立に向けて着実に努力を重ねることが大切です。

言うはやすし行うは難しですが、

「よりよい自分をつくるために学んでいることを自覚しているかないかは大きな差となります。」

「成功」の反対は「失敗」ではなく、「チャレンジしないこと」（加賀乙彦 精神科医）という言葉もあります。

チャレンジすることで得られるものは大きいことを大人は知っていますよね。



図書室の寄贈を受けました。ありがとうございました！！

日赤愛育湯沢班様から、子どもたちの読書のためにと図書を寄贈していただきました。読書活動は本校で力を入れている取り組みの一つです。これを機会にさらに子どもたちの読書に広がりを持たせていきたいと思っております。

日赤愛育湯沢班の皆様、ありがとうございました。

